

視察報告書

- 1 視察日時 令和5年7月11日 10時 ～ 14時
- 2 視察先 ①下仁保 ほ場整備予定地
②斗有 ハイブリット事業
③仁堀工業団地
④河本・岩田 新拠点整備事業
⑤岩田大池 排水対策
⑥奥吉原 農業法人の営農状況
- 3 視察目的 産業建設常任委員会所管事業の現状把握
- 4 視察参加者 ・金谷文則 ・福木京子 ・佐藤武文
・治徳義明 ・保田 守
- 5 視察概要
 - ① 下仁保地区令和6年度ほ場整備新採択希望地33.3ha。事業完成予定令和12年。事業へ約9億円。水稻、モモ、ブドウ、その他穀類を栽培予定。
 - ② 斗有地区において、補助事業を利用し水田から桃園への改良と、新規就農希望者に対する研修ほ場を整備。
 - ③ 仁堀工業団地内新規企業誘致場所の確認。(大松精機)
 - ④ 河本・岩田地区における新拠点整備事業対象地域の計画位置及び現状の確認。
 - ⑤ 岩田大池に新たに設置された下流域の浸水対策用雨水調整ゲートの視察。機能説明及びゲート目視。
 - ⑥ 奥吉原地区農業法人青空の作業予定地視察。
- 6 所感
 - ・①、②、⑥については赤磐市の主要産業の将来へ向けての重要事業であり、速やかな進捗と効果ある事業となるよう今後も委員会として見守りたい。
 - また、③、④においては、赤磐市の活力の創成と、市発展の最重要案件として市内外に注目される事業であり、赤磐市全体に公益発展がなされるよう十分配慮した計画実施が望まれており、当委員会所管においても今後の事業進捗に対し慎重な対応を心がけていく。
 - ⑤については、想定外の気象状況による洪水被害が発生しないよう、ゲートの機能が十分に発揮できるよう利用をお願いしたい。

以上